

関係者各位

「胸郭運動システムアプローチ講座 東京 5 日間コース 第 11 期生」開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびは、Breathing Care Tokyo 主催の「胸郭運動システムアプローチ講座 東京 5 日間コース 11 期生」開催のご案内をさせていただきます。

胸郭をテーマにじっくり勉強したいとご賛同いただける先生方と一緒に、胸郭運動システムの再建について探求していきたい思いでこの講習会を企画いたしました。ご参加いただけます先生方と十二分に話し合いを持てる講習会になればと考えております。講習会は30名未満での少人数制で、月1回開催にて全5回からの構成となっております。条件と致しましては、原則として全5回ご参加いただけることとし（難しい場合はご相談承ります）、月1度先生方と懇親も含め講習会を進行していきたいと思っております。

内容といたしましては、胸郭運動システムの再建における基礎から臨床応用までで、理学療法介入を胸郭から行うことができ、臨床結果を引き出せるまでを目標にした内容になります（別紙参照）。ご興味をもっていただける先生方にご参加いただければ幸いです。

尚、ご参加をいただける場合は、お手数ですが、下記のメールアドレスまでお知らせください。ご参加をお待ちしております。

敬具

記

1. 開催日（予定）：2023年（全5回コース）

【第11期A日程】

第1回 2月26日（日）
 第2回 3月26日（日）
 第3回 4月23日（日）
 第4回 5月21日（日）
 第5回 6月25日（日）

【第11期B日程】

第1回 3月5日（日）
 第2回 4月9日（日）
 第3回 5月7日（日）
 第4回 6月4日（日）
 第5回 7月2日（日）

※上記日程は現在での設定日になります。日程の確定は2022年12月末頃に予定しております。
 変更があった場合早急にご連絡申し上げます。

2. 講師：柿崎藤泰（文京学院大学）

3. 時間：全日程 10:00-16:00（昼休憩1時間、計5時間）

4. 受講費：全5回分 ¥67,000（税込）（お申し込み後、お振込のご案内を致します）

5. 定員：A日程・B日程ともに20名（最大収容人数の50%以下）

6. 場所：Breathing Care Tokyo（最寄り駅：JR 秋葉原駅 徒歩11分）
 〒110-0016 東京都台東区台東 1 丁目 23-12 パールヨットビル 2F

7. お申し込み先・お問い合わせ先：

e-mail：breathingcaretokyo@gmail.com（セミナー事業部迄）

以下の項目をご記入ください。

- ① 氏名（ふりがな）
- ② 性別
- ③ 所属施設名（都道府県名含む）
- ④ 職種
- ⑤ 経験年数
- ⑥ メールアドレス（PC とスマートフォン）
- ⑦ 当日連絡可能な電話番号

尚、定員になり次第締め切らせていただき、キャンセル待ちにて受付いたします。

以上

[講習内容]

<p>第1回 胸郭運動システムの基礎 I</p> <p>【目的】 胸郭運動システムについて理解する。 【目標】 胸郭運動システムについて理解したことを説明できる。胸郭左側方偏位と右側方偏位の違いを説明できる。胸郭左側方偏位と右側方偏位に対し的確に評価ができる。 【概要】 1. 胸郭運動システムについて 2. 胸郭運動システムの異常（胸郭左側方偏位と右側方偏位） 3. 胸郭左側方偏位と右側方偏位に対する考え方 4. 胸郭運動システムの再建におけるポイント 5. 胸郭運動の特徴</p>	<p>第3回 胸郭運動システムの基礎 III</p> <p>【目的】 胸郭のポジショニングの重要性について理解する。 【目標】 胸郭アライメント評価を的確に実行することができる。胸郭のニュートラルポジションを的確に実行することができる。 【概要】 1. 対角線上の関係をもつ胸郭運動パターン② 2. 胸郭アライメント評価/視診 3. 胸郭アライメント評価/触診 4. 胸郭のポジショニング</p>
<p>第2回 胸郭運動システムの基礎 II</p> <p>【目的】 胸郭の3つの運動パターンの内容について理解する。各運動パターンが身体運動に及ぼす影響を理解する。左側下位胸郭と浮遊筋に及ぼす筋の作用を理解する。 【目標】 胸郭の3つの運動パターンの内容をそれぞれ説明できる。対角線の関係をもつ胸郭運動パターンにおける正常と異常のメカニズムの相違を説明できる。下位胸郭のニュートラル化の重要性を説明できる。 【概要】 1. 上下の関係をもつ胸郭運動パターン（UAPとULP） 2. 左右の関係をもつ胸郭運動パターン 3. 対角線の関係をもつ胸郭運動パターン① a) EIMとFIM b) 左側下位胸郭に作用する Wrapping action c) Wrapping action における Task switching d) 左側腰方形筋の作用と第12肋骨運動</p>	<p>第4回 胸郭運動システムの再建 I</p> <p>【目的】 上位胸郭と頸椎および肩甲骨運動の連鎖を理解する。 【目標】 頸椎運動にともなう上位胸郭の運動を的確に促進することができる。肩の運動にともなう上位胸郭の運動を的確に促進することができる。 【概要】 1. 頭頸部に対する課題 2. 上肢帯および上肢に対する課題①</p>
	<p>第5回 胸郭運動システムの再建 II</p> <p>【目的】 下位胸郭と浮遊筋に及ぼす筋の作用を観察する。 【目標】 Wrapping action を誘発し、下位胸郭を主とし胸郭全体に生じる運動を的確に促進することができる。EIM および FIM が作用する各々の肢位で左側腰方形筋の作用を誘発し、第12肋骨の運動を的確に促進することができる。 【概要】 1. 上肢帯および上肢に対する課題② 2. 下位胸郭に作用する Wrapping action / Task switching 3. 左側腰方形筋の作用による第12肋骨運動</p>

[プロフィール]

- 1991年 3月 社会医学技術学院理学療法学科卒業 理学療法士国家資格取得
- 同年 4月 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院リハビリテーション部勤務
- 1994年 4月 昭和大学医学部第二生理学教室特別研究生
- 1997年 4月 昭和大学附属豊洲病院リハビリテーション部主任として異動
- 1999年 12月 アメリカ呼吸管理学会（American Association for Respiratory Care）「Respiratory Care」にて 1999年 Best Original Paper Award 受賞
- 2002年 3月 昭和大学医学部第二生理学教室 博士課程修了（医学博士）
- 2006年 3月 昭和大学附属豊洲病院退職
- 同年 4月 文京学院大学保健医療技術学部理学療法学科准教授として勤務
- 2012年 4月 同大学 保健医療技術学部教授、保健医療科学研究科教授として勤務
- 2017年 12月 Breathing Care Tokyo 株式会社 設立



現在に至る

[主な著書]

- 2013年 新人・若手理学療法士のための最近知見の臨床応用ガイドスー筋・骨格系理学療法 文光堂
- 2013年 呼吸リハビリテーションの理論と技術 改訂第2版 MEDICAL VIEW
- 2015年 理学療法技術の再検証 科学的技術の確立に向けて（理学療法 MOOK 17）三輪書店
- 2016年 胸郭運動システムの再建法 呼吸運動再構築理論に基づく評価と治療 三輪書店
- 2017年 運動のつながりから導く肩の理学療法 文光堂
- 2017年 胸郭運動システムの再建法 第2版-呼吸運動再構築理論に基づく評価と治療 ヒューマン・プレス社
- 2020年 運動のつながりから導く姿勢と歩行の理学療法 文光堂

[主なビデオ・CD]

- 2014年 胸郭運動システムの再建法 ～運動器として捉えた胸郭の機能評価と治療展開～ ジャパンタイム社
- 2017年 胸郭運動システムの再建法セミナー ～レッドコードを利用した治療戦略～ ジャパンタイム社